

2010年5月20日

お得意様各位

Cellestis Asia 株式会社
日本ビーシージー製造株式会社

クオンティフェロン TB ゴールド用採血管を使用した採血について
(お願い)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素はクオンティフェロン検査に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、クオンティフェロン TB ゴールド用採血管（採血管）に採血する際に、一部の被検者で採血量が規定量より多く採血される場合があることが判明致しました。

これは、採血管そのものの異常ではなく、日本の標準的採血方法が欧米と異なっている事が原因と考えられます。本採血管は輸入品であり、欧米の採血方法（針を刺した後、駆血帯を外してから採血する）で規定量が採血できるよう調整してあります。しかしながら、日本の場合は採血終了まで駆血帯を外さないため、血管の圧力が上がり、規定量より多めに採血される場合があるものと考えられます。

なお、採血量が多くても、1.2mL（黒い印の上端からおよそ3mm）までは成績に影響がないことが確認されております。

現在、日本の標準的採血方法で採血しても、規定量が採血できるよう採血管の改良を進めておりますので、改良品の供給開始は今秋を予定しておりますが、具体的時期の目途がつかましたら、再度ご連絡させていただきます。

それまでの間、採血管ホルダーを用いて 1mL の血液を採血する場合に、採血管の黒い印を目印に採血を行うことが実際上困難であれば、大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんが、下記のいずれかの方法で規定量の 1mL を採血して頂きたい、宜しくお願い致します。

謹白

記

1. 翼状針を使用する方法

採血管を立てた状態にし、目印の所まで採血された時に採血管を外す。翼状針を使用する際には、採血開始前にダミーの市販採血管を用いてチューブ内の空気を抜き、チューブに血液が満たされている事を確認する。

2. 注射器で採血し、採血管へそれぞれ規定量分注する方法

注射器で採血した後、針刺し事故および血液凝固に充分注意し、それぞれの採血管に 1mL（採血管の黒い印の所まで）を分注する。

*採血は室内温度（22±5℃）になった採血管をご使用下さい。

以上

【お問い合わせ先】

日本ビーシージー製造株式会社 カスタマーセンター
〒112-0006 東京都文京区小日向四丁目2番6号
TEL 03-5800-5311
FAX 03-5800-5308